

取扱説明書

707M-S / 707M-D / 707M-E / 707M-E
STUDIO CUE BOX

'08 6/30

安全にお使いいただくためのご注意

安全にお使いいただくため、本製品の設置前、及びご使用前に、以下をよくお読みください。

ご使用中も、いつでも見られる場所に保管してください。

！警告

- 電源供給接続は専用の電源供給機器 (677CMD (別売)) をお使いください。当社製品以外の製品との接続は、故障、及び、火災や感電の原因になります。
- 電源供給機器 (677CMD (別売)) の AC プラグは確実に差し込んでください。抜けかかった状態で端子が露出していると、火災や感電の原因になります。
- 電源供給機器 (677CMD (別売)) の電源コードの上に物をのせないでください。電源コードの温度が高くなった場合や、コードに傷がつくと、火災や感電の原因になります。
- 電源供給機器 (677CMD (別売)) に水がかかったり、内部に水が入ったりしないようにご注意ください。火災や感電の原因になります。
- 本製品に水がかかったり、内部に水が入ったりしないようにご注意ください。火災や感電の原因になります。
- 落雷の危険がある場合は本体、ケーブルに触らないでください。感電の原因になります。なお、落雷が近いことが事前に確認できる場合は電源供給機器 (677CMD (別売)) の電源スイッチを切り、コンセントから電源供給機器 (677CMD (別売)) の電源コードを抜いてください。
- 本製品使用中に、火花や煙が出るなど、異常を感じたら、速やかに、コンセントから電源供給機器 (677CMD (別売)) の AC コードを抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。

！注意

- しっかりした安定な場所で使用してください。転倒、落下等の衝撃が加わると、故障の原因になります。
- ストープ等、高温になる器具に本体及び接続ケーブル、電源供給機器 (677CMD (別売)) 及び電源コードを近づけないでください。火災や感電の原因になります。
- 周囲温度が高い場所で使用しないようご注意ください。火災の原因になります。
- 本体ケースは開けないでください。故障の原因になります。
- 本製品はエアコン等により周囲温度の安定している屋内専用です。屋外で使用しないでください。
- 放熱の妨げになるため、使用時は、本体をビニールや布で包んだり、上に物を乗せたりしないでください。火災の原因になります。
- 配線工事を伴う設置の場合、配線接続が正確に行われているか、専門業者により十分に確認してからご使用ください。間違った配線のまま使用すると、故障、火災の原因になります。
- 時々、電源供給機器 (677CMD (別売)) の電源プラグを抜いて、電源コードに傷や電源プラグに変形等の異常が無いか点検してください。異常がある場合は、販売店に電源コードの交換を依頼してください。異常のある電源コードを使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品を使用しない場合は、電源供給機器 (677CMD (別売)) の電源プラグをコンセントから抜いてください。長期間、コンセントに電源プラグが挿し込まれたままになっていると、ほこりなどの付着によって、火災の原因になることがあります。
- 大音量での使用は、聴覚障害を引き起こす原因となります。控えめな音量で使用し、少なくとも 30 分に一度はヘッドフォンを外して、5 分以上の休憩をとるようにしてください。

**** 本書で、システム構成に関する詳細説明も行っています。安全にお使いいただくために、配線工事を伴う設置の場合、配線接続工事は専門の業者に依頼し、十分な動作確認を行った上でご使用ください。**

707M-S / 707M-D / 707M-E / 707M-N 概要

音楽録音ヘッドフォンモニター用キューボックス。

製品の特徴

- *キューボックス標準機 SEC07 のヘッドフォンモニター音質をさらに熟成。
- *1/0 コネクター入力チャンネル数とスタンドによる 4 つのバリエーションモデル。
- *1 ステレオ、5 モノ、2 外部入力の 7+2CH 入力 (707M-S)。
- *1 ステレオ、6 モノ、2 外部入力 (内 1 つは CH8 と択一) の 8+1CH 入力 (707M-D, 707M-E, 707M-N)。
- *モノ入力スイッチにはφポジションを設け、ミックスマイナス機能他、演奏時の位相の問題に対応。
- *使用時のモニター環境に合わせて切り替えられるモニター位相選択スイッチ。
- *高さ可変、本体角度可変のスタンド(スタンドなしモデル 707M-E を除く)。
- *スタンドなしの 707M-E は、702M と共通の別売アダプター(専用品または小型スピーカー取り付け金具市販品)を介してマイクスタンドに取り付け可能。
- *最大 3 台までのチェーン接続が可能なスルーアウトコネクターを装備。
- *本体はアルミ筐体による優れた放熱性。
- *本体はアルマイトメッキ処理による優れた筐体表面仕上げの耐久性。

別売品

677CMD キューシステムマスターディストリビューター。

707M-S 用

677CCA_L05 677CMD-707M-S 間直接接続用ケーブル。5m。D25M-SK19 メス
 707SKC_L075 キューボックス (延長) 接続ケーブル。7.5m。SK19 オス-SK19 メス
 707SKC_L05 キューボックス (延長) 接続ケーブル。5m。SK19 オス-SK19 メス

707M-D, 707M-E 用

702-677CA_L05 677CMD-702M, 677CMD-707M-D, 707M-E 接続用ケーブル。5m。D25M-D25F (別売の 677CMD との接続用)

707M-N 用

677CCANK_L05 677CMD-707M-S 間直接接続用ケーブル。5m。D25M-NK27 メス
 707NKC_L075 (受注品) キューボックス (延長) 接続ケーブル。7.5m NK27 オス-NK27 メス
 707NKC_L05 (受注品) キューボックス (延長) 接続ケーブル。5m NK27 オス-NK27 メス

別売オプション品

702-MFH-2A 707M-E マイクスタンド取付アダプター (MFH-2A (オオハシ社製品) の固定ノブを交換したものです)。
 K&M 199 707M-E 推奨マイクスタンド K&M 社製 (斡旋品)

707M-S / 707M-D / 707M-E / 707M-N

SPEC.

入カコネクター

707M-S	メイン入力:1ヶ SK19-32S 背面 S-IN:1ヶ D25P (P=Male)*未使用 EXT/INST_IN:2ヶ TRS_Phone_Jack
707M-D	メイン入力:1ヶ D25P (P=Male) 背面 S-IN:1ヶ D25P (P=Male)*未使用 EXT/INST_IN:2ヶ TRS_Phone_Jack
707M-E	背面 S-IN:1ヶ D25P (P=Male) 底面 S-IN:1ヶ D25P (P=Male)*未使用 EXT/INST_IN:2ヶ TRS_Phone_Jack
707M-N	メイン入力:1ヶ NK27-32S 背面 S-IN:1ヶ D25P (P=Male)*未使用 EXT/INST_IN:2ヶ TRS_Phone_Jack

出カコネクター

707M-S	スルーアウト:1ヶ SK19-31S STEREO HEADPHONES:2ヶ STEREO Phone Jack MONO_EARPHONE:4ヶ 3.5mmJACK TUNER (MONO_OUT) : 1ヶ Phone Jack
707M-D	スルーアウト:1ヶ D25S (S=Female) STEREO HEADPHONES:2ヶ STEREO Phone Jack MONO_EARPHONE:4ヶ 3.5mmJACK TUNER (MONO_OUT) : 1ヶ Phone Jack
707M-E	スルーアウト:1ヶ D25S (S=Female) STEREO HEADPHONES:2ヶ STEREO Phone Jack MONO_EARPHONE:4ヶ 3.5mmJACK TUNER (MONO_OUT) : 1ヶ Phone Jack
707M-N	スルーアウト:1ヶ NK27-31S STEREO HEADPHONES:2ヶ STEREO Phone Jack MONO_EARPHONE:4ヶ 3.5mmJACK TUNER (MONO_OUT) : 1ヶ Phone Jack

音声入力特性 入カインピーダンス Hot20k Ω /Cold20k Ω 電子バランス型 0~+4dBu 基準
INST_INPUT:1M Ω アンバランス型 +10dB ゲインアンプ付き

音声出力特性 ヘッドフォン出力:負荷インピーダンス 8 Ω 以上 (20 Ω 以上を推奨)
TUNER:MONO_EARPHONE 1と内部で直接接続

伝送周波数特性 20~20kHz +0.5/-0.5dB

定格

電源電圧 \pm 24VDC (677CMD (別売)より供給)

電源周波数 DC

消費電力 標準 14W

外形寸法,重量 707M-S, 707M-D, 707M-N W=370mm D=370mm H=656(最大伸長時 976)mm 重量 5.6kg
* 707M-E W=263mm D=174mm H=89mm 重量 2.3kg (*707M-Eはスタンドがないため、寸法、重量が他のモデルとちがいます)

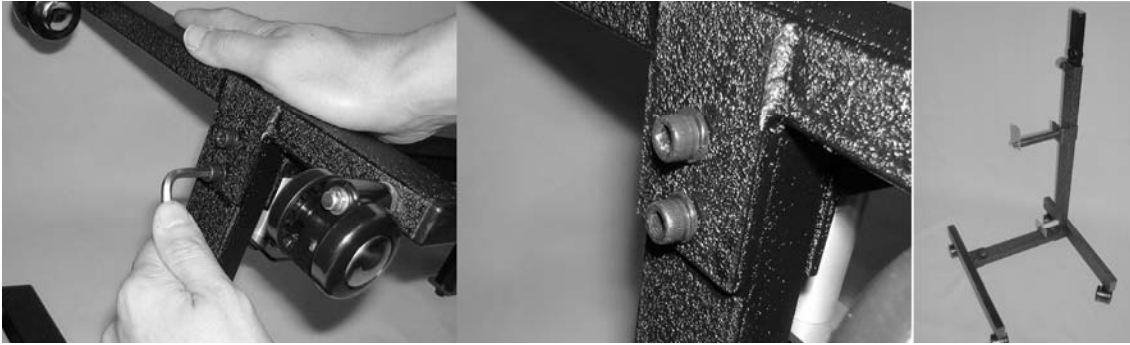
付属品 取扱説明書 1

***本製品単体では動作しません。**

本製品の使用には、別途、キューシステムマスターディストリビューター-677CMD (別売)との接続によるシステムアップが必要です。

本体とスタンドの組み立て

*5mmHEX レンチが必要です。



スタンド脚部と底部を固定します。5mmHEX レンチで付属の M6 六角ネジ 2 本を締めてください。
(ネジの締め付けは、スプリングワッシャーが平らになるまで締めてください。あまり締め過ぎると、スタンドネジ固定部が変形してしまいますので注意してください。)

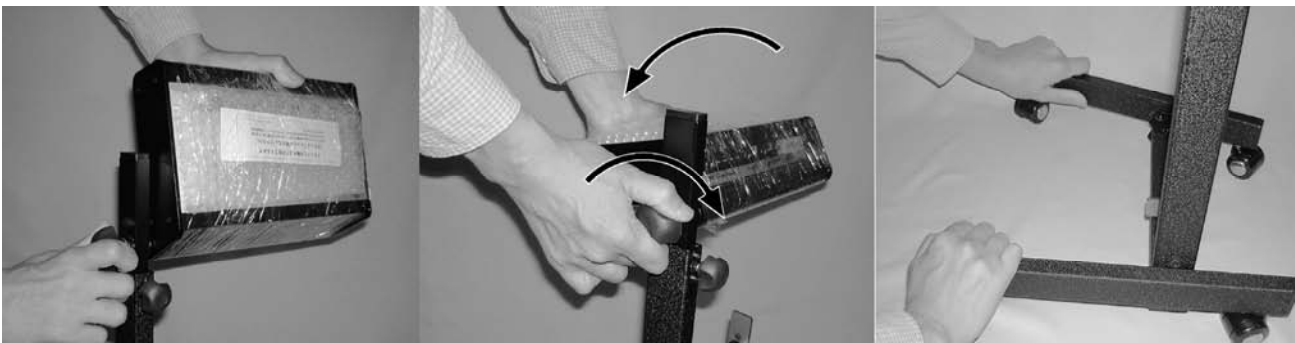
*スプリングワッシャーを入れ忘れないよう注意してください。



アンプ部分本体を取り付けます。先にツマミネジ先端の仮固定キャップを外します、ワッシャーは、ツマミ側から、テーパー springs ワッシャー、平ワッシャー、ネジ側に樹脂ワッシャー、の順に入っています。テーパー springs ワッシャーは、ツマミ側が穴部分が山状に盛り上がっている側です。ワッシャーの順番に注意してください。

本体の取り付けネジ穴は、巻かれているツマミ保護材に引かれて、穴位置がずれていることがありますので、穴位置を合わせるように引っ張りながら、ツマミネジを、ネジが斜めに入らないよう注意して、ゆっくりとねじ込んでください。

*取り付けが完了するまで本体のツマミ保護材は取らないで下さい。



ツマミネジをある程度ねじ込んだら、本体手前側を上を持ち上げた状態にして、そのままツマミネジを回せなくなるまでいっぱい締めてください。この状態では、まだ本体角度固定がゆるい状態ですので、写真中央のように、さらにツマミネジの締めこみと、本体の角度調整を同時に行います。これで本体角度固定がゆるい場合は、さらにツマミネジを締める方向に回しながら、本体手前側を持ち上げて、再度ツマミねじの締めこみと、本体の角度調整を繰り返します。本体手前側を軽く押しても本体角度が下がってしまわない程度まで、締めこみを行ってください。

スタンド底部の開き角度は(固いですが)手で調整できます。調整する時は、倒れないよう注意してください。開いた状態では、複数台の 707M-(S, D, N) を並べて収納しておく場合に、スタンド底部が重なるように入るため、保管スペースが小さくできます。(製品設計時のスタンド底部の形状が、開いた状態でデザインしていますので、開いた状態がオリジナルデザインです)

スタンド高さ調整

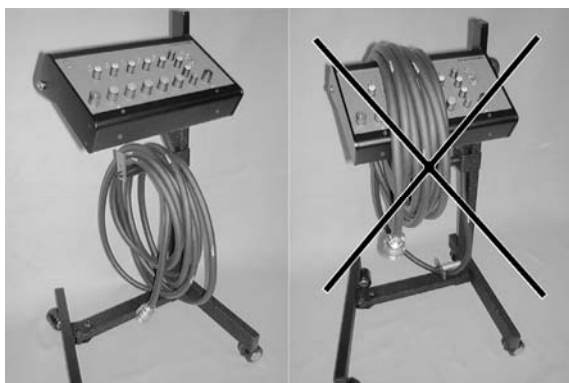


高さ調整の際に引っかかりますので、先に、下側ケーブルフックからケーブルを外します。本体後ろ側のゴム巻きシャフトを片手で支えてから、高さ調整ツマミを緩めます。高さ調整を行い、高さ調整ツマミを締めて固定します。この間本体を片手で支え続けてください。下側ケーブルフックにケーブルを戻します。

!注意!

スタンド高さ調整の際、本体の重さでスタンドが急に下がると危険ですので、必ず、片手で本体を支えた状態でツマミを緩めてください。

保管時の接続ケーブル収納



!注意!

巻き取った接続ケーブルを本体にかけないで下さい。本体が片持ち式のため、本体に重量物をかけてしまうと固定ねじ部分に負担がかかり、故障の原因となります。巻き取った接続ケーブルは、脚部のケーブルフックにかけてください。

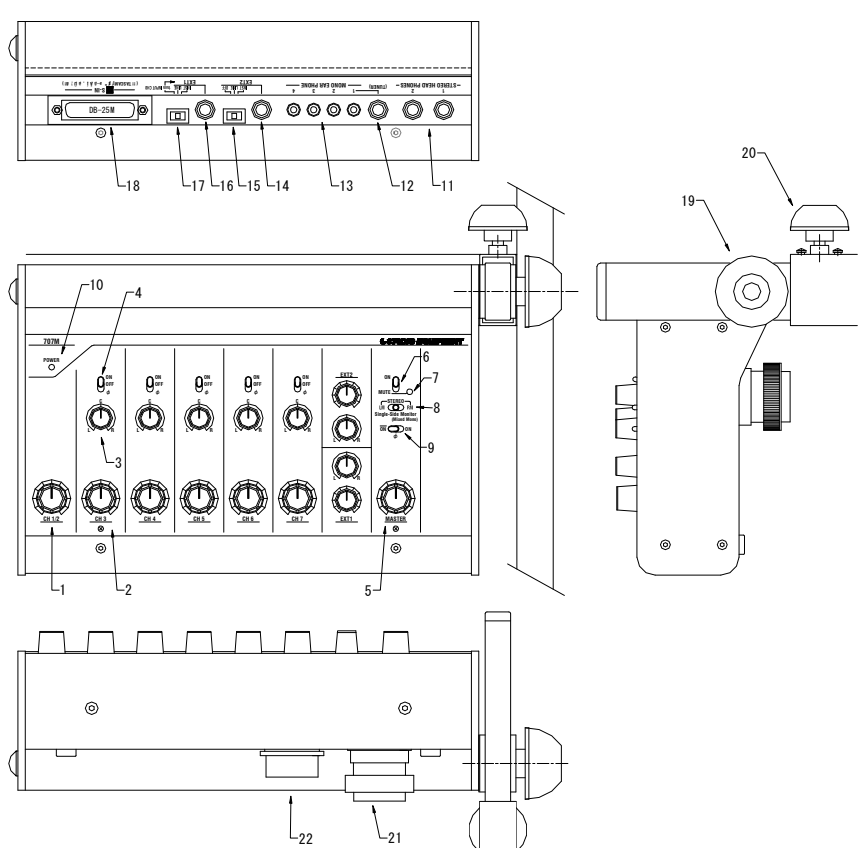
ヘッドフォンフックの使用



使用時に一時的にヘッドフォンを707M-(S, D, N)にかけておく場合、脚部上部の突き出し部分が利用できます。同様に、脚部ケーブルフックも利用できます。

*このような状態の時に本体角度を動かさないで下さい。本体とスタンド脚部の結合部分(固定ねじ部分)にケーブルやヘッドフォンを挟んで破損させてしまいます。

各部の機能

- 
- 1: CH1/2 (STEREO) レベル。
 - 2: CH3/4/5/6/7/EXT1/EXT2 レベル。
 - 3: CH3/4/5/6/7/EXT1/EXT2 L-R バンポット。
 - 4: CH3/4/5/6/7 入力 ON/OFF スイッチ。φポジションでミックスマイナス機能を得ることができます。
 - 5: MASTER レベル。ヘッドフォン、イヤフォン(及び TUNER 出力)の音量を調整します。
 - 6: MUTE スイッチ。手前側で出力 MUTE。
 - 7: MUTE インジケーター。赤色 LED。MUTE 時点灯。
 - 8: 片耳モニタースイッチ。センター位置でステレオ。左右の位置にすると L/R がモノミックスされ、左の場合は R-CH がミュート、右の場合は L-CH がミュートされます。ステレオヘッドフォンの片側を耳から外したモニタースタイルに対応し、耳から外しているヘッドフォンドライバーからの音漏れを防ぎます。*片耳モニター状態でイヤフォンを使用すると音量が小さくなりますので、イヤフォンを使用する場合はセンター位置(ステレオ)で使用してください。
 - 9: ON-OFF スイッチ。ON ポジション(レバー左側)は出力の位相を入力位相に対して反転させます。通常はレバー右側で使用します。かぶり音等の直接音との兼ね合いを考慮して演奏しやすいモニター位相を選択できます。
 - 10: 電源インジケーター。緑色 LED。内部±24V により点灯。
 - 11: 1/4" ステレオヘッドフォンジャック。
 - 12: TUNER アウト。モノアウト 1/4" フォンジャック。MONO_EAR_PHONE-1 と内部で直接接続されています。ギターチューナー等の接続に使用します。
 - 13: 3.5mm モノイヤフォンジャック。
 - 14: EXT2/INST2_IN コネクター。TRS フォンジャック。外部入力。INST 入力時は、+10dB/Z=1MΩ ゲインアンプが挿入されます。
 - 15: EXT2/INST2 セレクトスイッチ。
 - 16: EXT1/INST1_IN コネクター。TRS フォンジャック。外部入力。INST 入力時は、+10dB/Z=1MΩ ゲインアンプが挿入されます。
 - 17: CH8/EXT1/INST1 レクトスイッチ。CH8 セレクト時は、メイン入力の CH8 が EXT1 入力になります(*707M-S には CH8 入力がないため、OFF になります)。
 - 18: 背面 S-IN コネクター。D25P (P=Male)。*707M-S, 707M-D, 707M-N では未使用。メイン入力に接続された電源がそのまま出ているため、ショートなどで故障の原因になりますので、キャップを外さないでください。
 - 707M-E では、背面 S-IN コネクターを、メイン入力コネクターとして使用します。707M-E は、底面にも S-IN コネクターが付いています、キャップを外して使用する場合は、ショートなどで故障の原因になりますので、必ず使用しない側の S-IN コネクターにキャップを移し替えてください。
 - 19: 本体角度固定ねじつまみ。本体が片持ち式のため、固い締め付けになっています。本体角度を調整する場合は、右手でつまみを持ち、左手で本体手前側一旦上に持ち上げてから、つまみの締め込みと本体角度の調整を同時に行なってください。
 - 20: スタンド高さ調整ねじつまみ。調整する場合は、先に下側のケーブルフックからケーブルを外します。次に、片手で本体を支えた状態でつまみを緩めてください。

!注意! スタンド高さ調整の際、本体の重さでスタンドが急に下がると危険ですので、必ず、片手で本体を支えた状態でつまみを緩めてください。

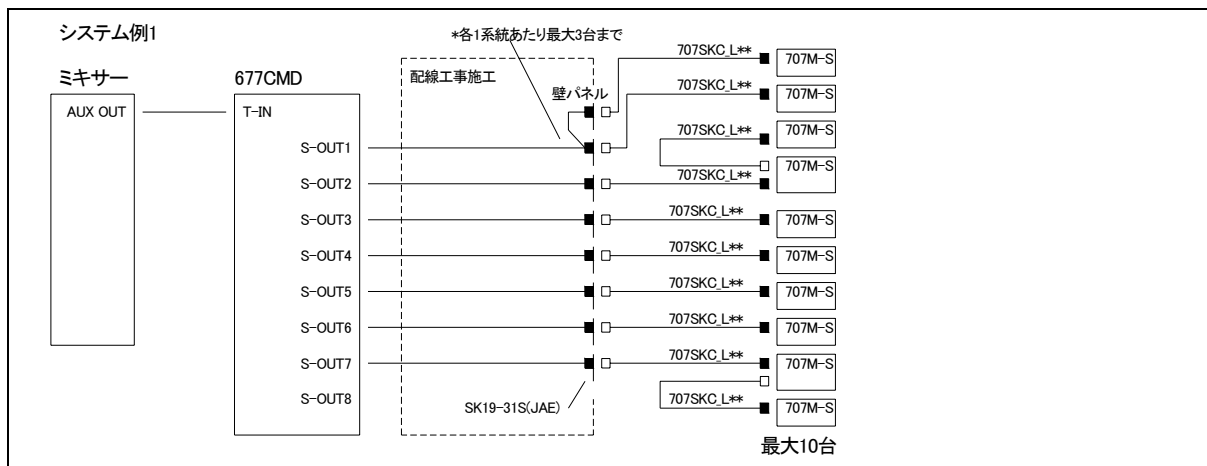
!注意! 巻き取った接続ケーブルを本体にかけないで下さい。

本体が片持ち式のため、本体に重量物をかけてしまうと固定ねじ部分に負担がかかり、故障の原因となります。巻き取った接続ケーブルは、脚部のケーブルフックにかけてください。

*ヘッドフォンを接続する場合、不用意に大音量が発生し、聴覚に一時的な障害を与える可能性がありますので、ヘッドフォンを外し、5:MASTER レベルを絞りきった状態で接続を行ってください。

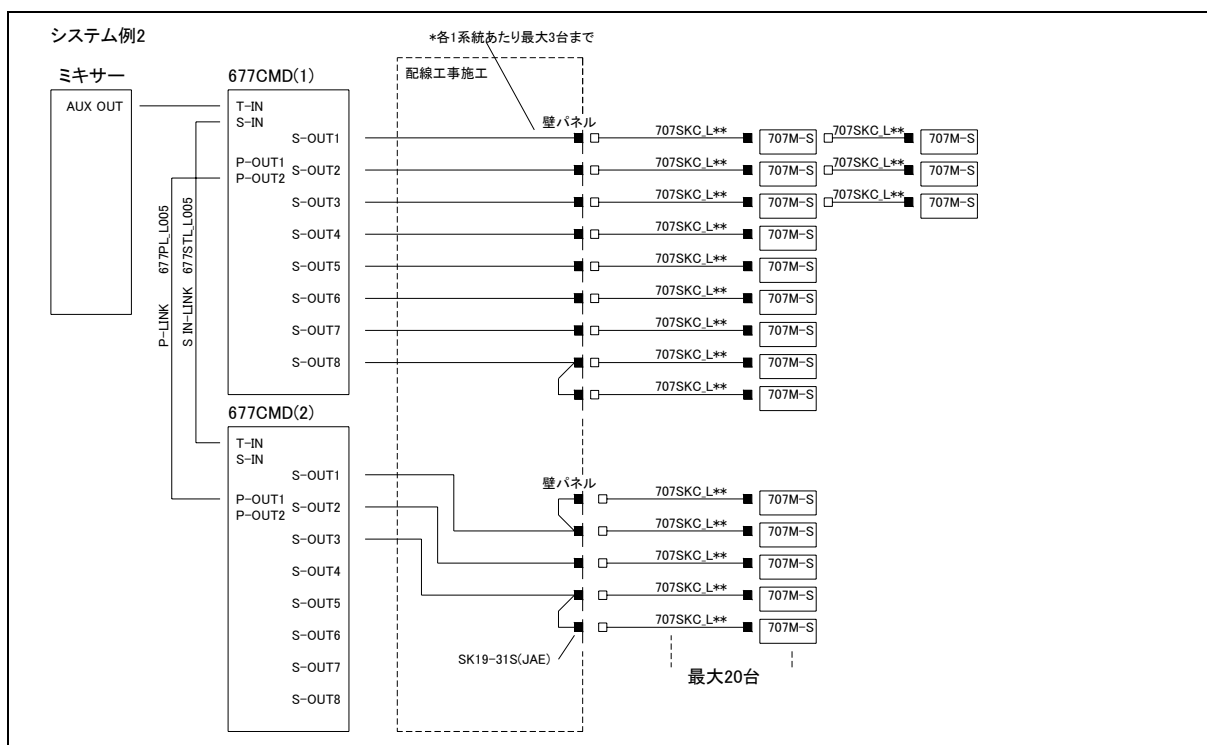
システム構成例

CUE SYSTEM は、通常、コントロールルームとスタジオフロア間にまたがっている事が多いため、配線工事を必要とします。十分な性能を発揮させるためには、配線工事の信頼性が重要ですので、当社など、専門の配線工事業者にご依頼ください。



例1は677CMD 1台とCUE BOX 707M-Sを最大10台使用する、標準的な構成です。スタジオフロアの壁にマイク接続用と同様にパネルコネクタを設け、そこから専用ケーブル 707SKC_L05(5m)または 707SKC_L075(7.5m) (*旧型番 CCB04M(4m), CCB06M(6m)より変更'08年6月)で707M-Sに接続します。677CMDをコントロールルーム、またはスタジオフロアに設置します。壁のパネルコネクタ部分は配線工事が必要です。S-OUT 1系統あたり、707M-Sのスルーアウトによる分岐を含め、最大3台まで接続可能です。

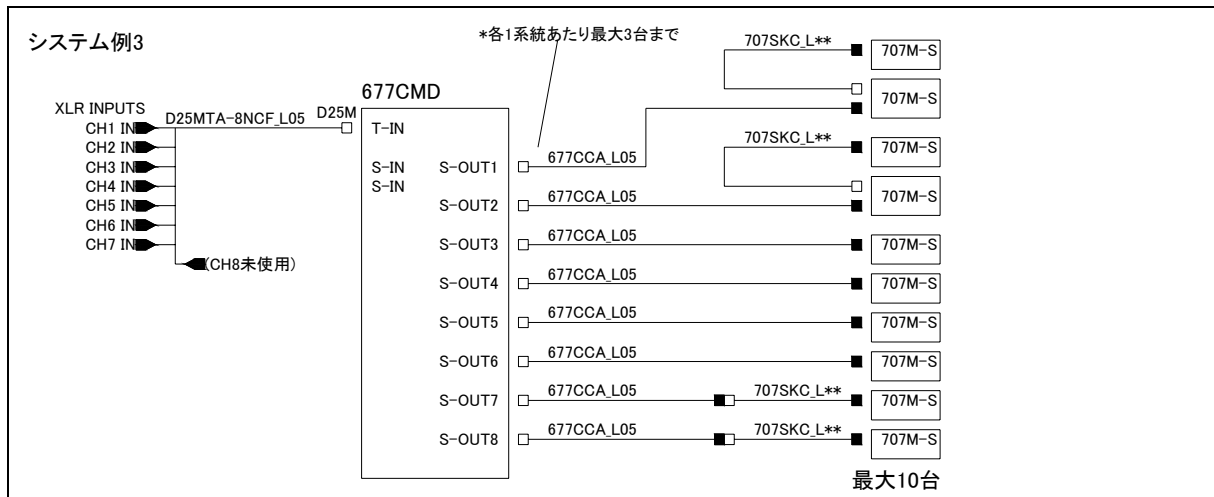
注! :1系統にCUE BOXが4台以上となる接続は避けてください。



例2は2台の677CMDを並列接続して最大20台の707M-Sが接続可能な大規模システムです。図では例として677CMD(1)の出力系統に10台以上の707M-Sが接続されています。P-LINKが接続されていると、2台の677CMDの±24VDCが並列運転となるため、S-OUT 1系統あたり、3台までの接続であればどんな系統の組み合わせでも最大20台まで接続可能です。677CMDを3台以上並列接続することも可能です。P-LINKには、この他、お互いの±24VDC同士が共有され、電源出力が強化されるメリットがあります。レコーディングセッションの要であるCUE SYSTEMの安全性を高めることが出来ます。壁のパネルコネクタ部分は配線工事が必要です。

注! :1系統にCUE BOXが4台以上となる接続は避けてください。

*677CMD複数台の並列運転時、P-LINKの接続によって±24VDCおよび、677CMD内の音声分配ラインアンプ電源が共有化されます。(内部ラインアンプ電源の共有化は677CMD R2.0より)



例4は、配線工事を行わずに仮設置するシステムです。677CMDのS-OUTと707M-S間の接続には専用ケーブル677CCA_L05(L05=5m)(別売)を使用します。707M-D、707M-E(及び702M)を接続する場合は、702M-677CMD間接続用ケーブル702-677CA_L05(5m)(別売)を使用します。

注! :1系統にCUE BOXが4台以上となる接続は避けてください。

仕様書

	承認	検図	作成 柏木	株式会社スタジオイクイメント
型番 707M-S				
製品名 STUDIO CUE BOX (7CH)				2008年3月10日
1 概要				
音楽録音ヘッドフォンモニター用7CHキューボックス。SK19コネクター入力				
入力信号は CH1, 2:ステレオ, CH3, 4, 5, 6, 7 の7CH入力。				
2CHの単独外部入力。				
2 付属品				
取扱説明書 1部				
3 定格				
(1) 伝送周波数範囲				
20~20kHz +0.5/-0.5dB以内				
(2) 入力回路数及びレベル				
CH_IN :7 0~+4dBu基準				
EXT_IN :2 0~+4dBu基準 / INST_IN :-10dBV基準 (EXT_INとINST_INは同入力をスイッチで切替)				
(3) 出力回路数及びレベル				
STEREO HEAD PHONES 出力 :2系統				
MONO EAR PHONE 出力 :4系統				
MONO 出力 (TUNER) :1系統 (MONO1とバラ接続)				
(4) 入力インピーダンス及び回路				
Hot20kΩ/Cold20kΩ 電子バランス型				
(5) 出力負荷インピーダンス及び回路				
STEREO HEAD PHONES 出力 : 負荷インピーダンス8Ω以上 (20Ω以上を推奨)				
MONO EAR PHONE 出力 : 負荷インピーダンス8Ω以上 (20Ω以上を推奨)				
MONO 出力 (TUNER) : 負荷インピーダンス600Ω以上				
(6) 電源 DC±24V 677CMD(別売品)より供給				
(7) 極性 ビン配表に明記				
(8) 使用時間 不断連続動作				
(9) 動作温度湿度範囲 5~35℃、30~85% (結露無きこと)				
(10) 消費電力 標準14W				
(11) 重量 5.6kg				
(12) 外形寸法 W:385/D:351/H:656~976 (他、概観図参照)				
4 外観図	別紙	707-MOD1		
5 ブロック図	別紙	707-MBD1		
6 ピン配表	別紙	707-MSIOPD1		

仕様書

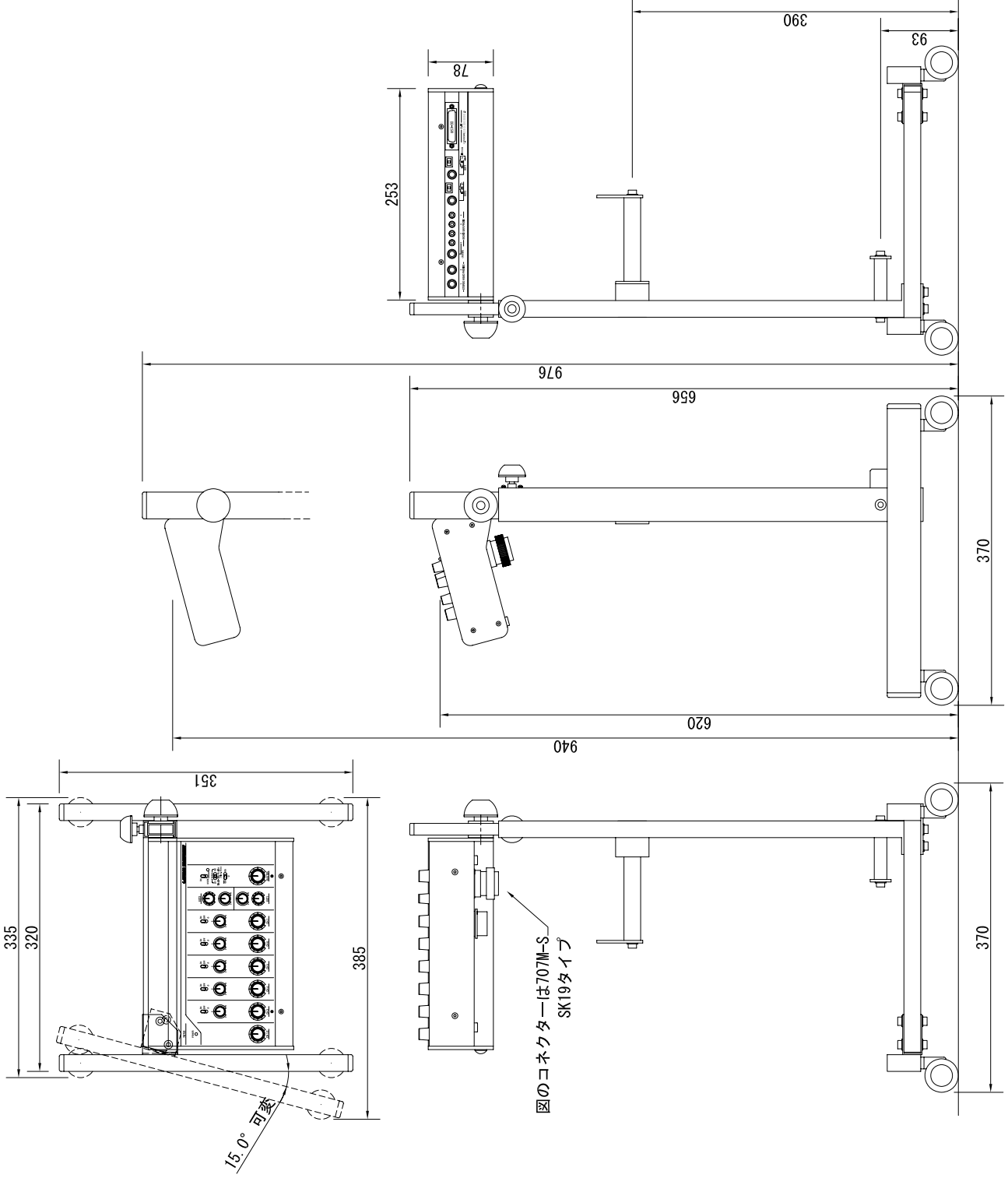
	承認	検図	作成 柏木	株式会社スタジオイクイメント
型番 707M-D				
製品名 STUDIO CUE BOX (8CH)				2008年3月10日
1 概要				
音楽録音ヘッドフォンモニター用8CHキューボックス。Dサブ25コネクター入力				
入力信号は CH1, 2:ステレオ, CH3, 4, 5, 6, 7, CH8/EXT1 の8CH入力 (CH8とEXT1 TRSPHONE入力は択一)。				
2CHの単独外部入力 (CH8とEXT1 TRSPHONE入力は択一)。				
2 付属品				
取扱説明書 1部				
3 定格				
(1) 伝送周波数範囲				
20~20kHz +0.5/-0.5dB以内				
(2) 入力回路数及びレベル				
CH_IN :8 0~+4dBu基準 (CH8とEXT1 TRSPHONE入力は択一)				
EXT_IN :2 0~+4dBu基準 / INST_IN :-10dBV基準 (EXT_INとINST_INは同入力をスイッチで切替)				
(3) 出力回路数及びレベル				
STEREO HEAD PHONES 出力 :2系統				
MONO EAR PHONE 出力 :4系統				
MONO 出力 (TUNER) :1系統 (MONO1とバラ接続)				
(4) 入力インピーダンス及び回路				
Hot20kΩ/Cold20kΩ 電子バランス型				
(5) 出力負荷インピーダンス及び回路				
STEREO HEAD PHONES 出力 : 負荷インピーダンス8Ω以上 (20Ω以上を推奨)				
MONO EAR PHONE 出力 : 負荷インピーダンス8Ω以上 (20Ω以上を推奨)				
MONO 出力 (TUNER) : 負荷インピーダンス600Ω以上				
(6) 電源 DC±24V 677CMD(別売品) より供給				
(7) 極性 ビン配表に明記				
(8) 使用時間 不断連続動作				
(9) 動作温度湿度範囲 5~35℃、30~85% (結露無きこと)				
(10) 消費電力 標準14W				
(11) 重量 5.6kg				
(12) 外形寸法 W:385/D:351/H:656~976 (他、概観図参照)				
4 外観図	別紙	707-MOD1		
5 ブロック図	別紙	707-MBD1		
6 ピン配表	別紙	707-MDE1OPD1		

仕様書

	承認	検図	作成 柏木	株式会社スタジオイクイメント
型番 707M-E				
製品名 STUDIO CUE BOX (8CH)				2008年3月10日
1 概要				
音楽録音ヘッドフォンモニター用8CHキューボックス。Dサブ25コネクター入力				
入力信号は CH1, 2:ステレオ, CH3, 4, 5, 6, 7, CH8 (EXT1) の8CH入力 (CH8とEXT1TRSPHONE入力は択一)。				
2CHの単独外部入力 (CH8とEXT1TRSPHONE入力は択一)。				
2 付属品				
取扱説明書 1部				
3 定格				
(1) 伝送周波数範囲				
20~20kHz +0.5/-0.5dB以内				
(2) 入力回路数及びレベル				
CH_IN : 8 0~+4dBu基準 (CH8とEXT1TRSPHONE入力は択一)				
EXT_IN : 2 0~+4dBu基準 / INST_IN : -10dBV基準 (EXT_INとINST_INは同入力をスイッチで切替)				
(3) 出力回路数及びレベル				
STEREO HEAD PHONES 出力 : 2系統				
MONO EAR PHONE 出力 : 4系統				
MONO 出力 (TUNER) : 1系統 (MONO1とバラ接続)				
(4) 入力インピーダンス及び回路				
Hot20kΩ/Cold20kΩ 電子バランス型				
(5) 出力負荷インピーダンス及び回路				
STEREO HEAD PHONES 出力 : 負荷インピーダンス8Ω以上 (20Ω以上を推奨)				
MONO EAR PHONE 出力 : 負荷インピーダンス8Ω以上 (20Ω以上を推奨)				
MONO 出力 (TUNER) : 負荷インピーダンス600Ω以上				
(6) 電源				
DC±24V 677CMD (別売品) より供給				
(7) 極性				
ピン配表に明記				
(8) 使用時間				
不断連続動作				
(9) 動作温度湿度範囲				
5~35°C、30~85% (結露無きこと)				
(10) 消費電力				
標準14W				
(11) 重量				
2.3kg				
(12) 外形寸法				
W: 263/D: 180/H: 76 (突起部除く)				
4 外観図				
別紙 707-ME0D1				
5 ブロック図				
別紙 707-MBD1				
6 ピン配表				
別紙 707-MDE1OPD1				

仕様書

	承認	検図	作成 柏木	株式会社スタジオイクイメント
型番 707M-N				
製品名 STUDIO CUE BOX (8CH)				2008年3月10日
1 概要				
音楽録音ヘッドフォンモニター用8CHキューボックス。NK27コネクタ入力				
入力信号は CH1, 2:ステレオ, CH3, 4, 5, 6, 7, CH8/EXT1 の8CH入力 (CH8とEXT1 TRSPHONE入力は択一)。				
2CHの単独外部入力 (CH8とEXT1 TRSPHONE入力は択一)。				
2 付属品				
取扱説明書 1部				
3 定格				
(1) 伝送周波数範囲				
20~20kHz +0.5/-0.5dB以内				
(2) 入力回路数及びレベル				
CH_IN : 8 0~+4dBu基準 (CH8とEXT1 TRSPHONE入力は択一)				
EXT_IN : 2 0~+4dBu基準 / INST_IN : -10dBV基準 (EXT_INとINST_INは同入力をスイッチで切替)				
(3) 出力回路数及びレベル				
STEREO HEAD PHONES 出力 : 2系統				
MONO EAR PHONE 出力 : 4系統				
MONO 出力 (TUNER) : 1系統 (MONO1とバラ接続)				
(4) 入力インピーダンス及び回路				
Hot20kΩ / Cold20kΩ 電子バランス型				
(5) 出力負荷インピーダンス及び回路				
STEREO HEAD PHONES 出力 : 負荷インピーダンス8Ω以上 (20Ω以上を推奨)				
MONO EAR PHONE 出力 : 負荷インピーダンス8Ω以上 (20Ω以上を推奨)				
MONO 出力 (TUNER) : 負荷インピーダンス600Ω以上				
(6) 電源 DC±24V 677CMD (別売品) より供給				
(7) 極性 ビン配表に明記				
(8) 使用時間 不断連続動作				
(9) 動作温度湿度範囲 5~35℃、30~85% (結露無きこと)				
(10) 消費電力 標準14W				
(11) 重量 5.6kg				
(12) 外形寸法 W:385/D:351/H:656~976 (他、概観図参照)				
4 外観図	別紙	707-MOD1		
5 ブロック図	別紙	707-MBD1		
6 ピン配表	別紙	707-MN1OPD1		



図のコネクターは707M-S
SK19タイプ

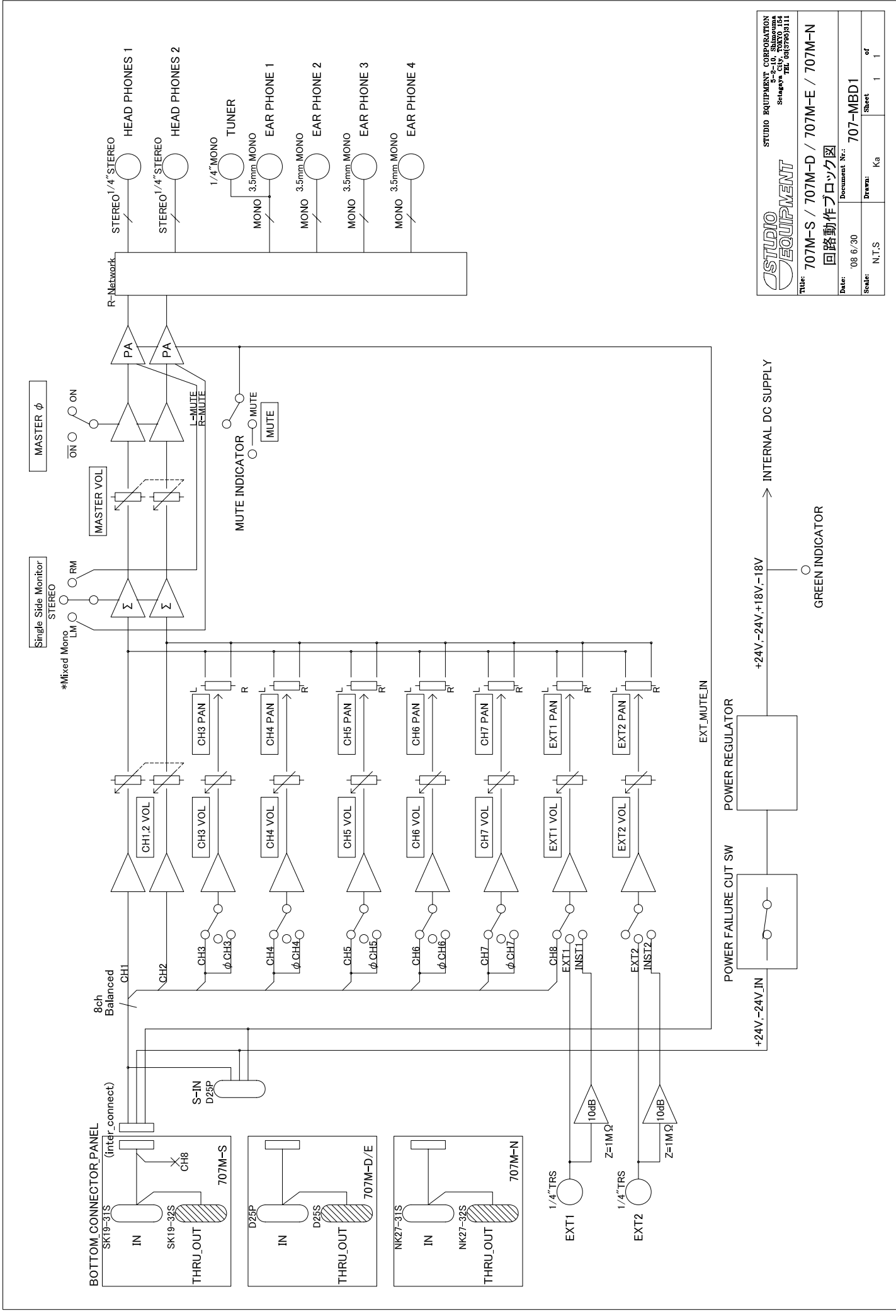
材料：(本体)Alp/スタンド(40x20鉄角パイプ)
 表面処理：(本体ケース)黒梨地アルマイト
 表面処理：(スタンド)黒チリメン塗装

STUDIO EQUIPMENT
 STUDIO EQUIPMENT CORPORATION
 6-10, Shimo-Ogino
 Setagaya-Ku, Tokyo 158-8511

品名: STUDIO CUE BOX 707M-S / 707M-D / 707M-N

外観図

Date:	07/03/30	Document No.:	707-MOD1
Scale:	1/2	Drawn:	Ka
		Sheet	1
		of	1



707M-S I/O Connector Pinout

IN(底面)

SK19-32S(JAE)

No.	Description	Note
1	IN ch1-	
2	+24V_IN	
3	IN ch1+	
4	IN ch2-	
5	IN ch2+	
6	IN ch3-	
7	IN ch3+	
8	IN ch4-	
9	IN ch4+	
10	GND	
11	IN ch5-	
12	IN ch5+	
13	IN ch6-	
14	IN ch6+	
15	IN ch7-	
16	IN ch7+	
17	OV_IN	
18	-24V_IN	
19	EXT_MUTE_IN	OVと接続するとMUTEになります

*背面のS-INコネクタは使用禁止。カバーを外さないで下さい。

THURU_OUT(底面)

SK19-31S(JAE)

No.	Description	Note
1	IN ch1-	
2	+24V_IN	
3	IN ch1+	
4	IN ch2-	
5	IN ch2+	
6	IN ch3-	
7	IN ch3+	
8	IN ch4-	
9	IN ch4+	
10	GND	
11	IN ch5-	
12	IN ch5+	
13	IN ch6-	
14	IN ch6+	
15	IN ch7-	
16	IN ch7+	
17	OV_IN	
18	-24V_IN	
19	EXT_MUTE_IN	OVと接続するとMUTEになります

*スルーアウトを使用したループ接続は最大3台まで可能です。
(4台以上になる接続は禁止)

EXT1/INST1

TRS PHONE JACK

	Description	Note
Tip	IN EXT1+/INST1+	
Ring	IN EXT1-/	
Sleeve	GND	

EXT2/INST2

TRS PHONE JACK

	Description	Note
Tip	IN EXT2+/INST2+	
Ring	IN EXT2-/	
Sleeve	GND	

STEREO HEAD PHONES 1,2

STEREO PHONE JACK (=TRS PHONE JACK)

	Description	Note
Tip	HP-L_OUT+ 1,2	
Ring	HP-R_OUT+ 1,2	
Sleeve	GND	

TUNER

1/4" PHONE JACK

	Description	Note
Tip	MONO_OUT1+	
Sleeve	OV	

MONO EAR PHONE 1~4

3.5mm JACK

	Description	Note
Tip	MONO_OUT+ 1~4	
Sleeve	OV	

707M-S
SK19コネクタ入力
のピン配列です。

ピン配列表を間違え
ないように注意して
ください。

707M-D / 707M-E I/O Connector Pinout

S-IN(底面及び背面)

D25P(P=Male)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	IN ch1+	
14	IN ch1-	
2	IN ch2+	
15	IN ch2-	
3	IN ch3+	
16	IN ch3-	
4	IN ch4+	
17	IN ch4-	
5	IN ch5+	
18	IN ch5-	
6	IN ch6+	
19	IN ch6-	
7	IN ch7+	
20	IN ch7-	
8	IN ch8(EXT1)+	
21	IN ch8(EXT1)-	
9	GND	
22	EXT_MUTE_IN	0Vと接続するとMUTEになります
10	+24V_IN	必ず10, 11の両方に+24Vを接続する (*23は0Vと接続されています)#1
23	---(0Vと接続)#1	
11	+24V IN	必ず10, 11の両方に+24Vを接続する
24	0V IN	必ず24, 25の両方に0Vを接続する
12	-24V IN	必ず12, 13の両方に-24Vを接続する
25	0V IN	
13	-24V IN	必ず24, 25の両方に0Vを接続する 必ず12, 13の両方に-24Vを接続する

*底面と背面のS-INコネクタを同時に使用することはできません。

未使用側のS-INコネクタは必ずカバーを取り付けて下さい。

#1:Pin23はPin24, 25に加えて0V配線を強化するために使用できます。

*電源配線は必ずすべての電源入力ピンに接続する必要があります。

S-IN_THURU_OUT(底面)

D25P(P=Male)with#4-40screw post

No.	Description	Note
1	IN ch1+	
14	IN ch1-	
2	IN ch2+	
15	IN ch2-	
3	IN ch3+	
16	IN ch3-	
4	IN ch4+	
17	IN ch4-	
5	IN ch5+	
18	IN ch5-	
6	IN ch6+	
19	IN ch6-	
7	IN ch7+	
20	IN ch7-	
8	IN ch8(EXT1)+	
21	IN ch8(EXT1)-	
9	GND	
22	EXT_MUTE_IN	0Vと接続するとMUTEになります
10	+24V_IN	必ず10, 11の両方に+24Vを接続する (*23は0Vと接続されています)#1
23	---(0Vと接続)#1	
11	+24V IN	必ず10, 11の両方に+24Vを接続する
24	0V IN	必ず24, 25の両方に0Vを接続する
12	-24V IN	必ず12, 13の両方に-24Vを接続する
25	0V IN	
13	-24V IN	必ず24, 25の両方に0Vを接続する 必ず12, 13の両方に-24Vを接続する

*スルーアウトを使用したループ接続は最大3台まで可能です。

(4台以上になる接続は禁止)

#1:Pin23はPin24, 25に加えて0V配線を強化するために使用できます。

*電源配線は必ずすべての電源入力ピンに接続する必要があります。

EXT1/INST1

TRS PHONE JACK

	Description	Note
Tip	IN EXT1+/INST1+	
Ring	IN EXT1-/	
Sleeve	GND	

EXT2/INST2

TRS PHONE JACK

	Description	Note
Tip	IN EXT2+/INST2+	
Ring	IN EXT2-/	
Sleeve	GND	

STEREO HEAD PHONES 1, 2

STEREO PHONE JACK (=TRS PHONE JACK)

	Description	Note
Tip	HP-L_OUT+ 1, 2	
Ring	HP-R_OUT+ 1, 2	
Sleeve	GND	

TUNER

1/4" PHONE JACK

	Description	Note
Tip	MONO_OUT1+	
Sleeve	0V	

MONO EAR PHONE 1~4

3.5mm JACK

	Description	Note
Tip	MONO_OUT+ 1~4	
Sleeve	0V	

707M-D / 707M-E
Dサブ25ピン
コネクタ入力
のピン配列です。

ピン配列表を間違え
ないように注意して
ください。

707M-N I/O Connector Pinout

IN(底面)

NK27-32S(JAE)

No.	Description	Note
1	IN ch1-	
2		
3	IN ch1+	
4	IN ch2-	
5	IN ch2+	
6	IN ch3-	
7	IN ch3+	
8	IN ch4-	
9	IN ch4+	
10	GND	
11	IN ch5-	
12	IN ch5+	
13	IN ch6-	
14	IN ch6+	
15	IN ch7-	
16	IN ch7+	
17	IN ch8 (EXT1)-	
18	IN ch8 (EXT1)+	
19	-24V IN	
20	+24V IN	
21	0V IN	
22	EXT_MUTE_IN	0Vと接続するとMUTEになります
23		
24	0V IN	
25	-24V IN	
26	+24V IN	
27		

*背面のS-INコネクタは使用禁止。カバーを外さないで下さい。

EXT1/INST1

TRS PHONE JACK

	Description	Note
Tip	IN EXT1+/INST1+	
Ring	IN EXT1-/	
Sleeve	GND	

EXT2/INST2

TRS PHONE JACK

	Description	Note
Tip	IN EXT2+/INST2+	
Ring	IN EXT2-/	
Sleeve	GND	

STEREO HEAD PHONES 1,2

STEREO PHONE JACK (=TRS PHONE JACK)

	Description	Note
Tip	HP-L_OUT+ 1,2	
Ring	HP-R_OUT+ 1,2	
Sleeve	GND	

TUNER

1/4" PHONE JACK

	Description	Note
Tip	MONO_OUT1+	
Sleeve	0V	

MONO EAR PHONE 1~4

3.5mm JACK

	Description	Note
Tip	MONO_OUT+ 1~4	
Sleeve	0V	

IN_THURU_OUT(底面)

NK27-31S(JAE)

No.	Description	Note
1	IN ch1-	
2		
3	IN ch1+	
4	IN ch2-	
5	IN ch2+	
6	IN ch3-	
7	IN ch3+	
8	IN ch4-	
9	IN ch4+	
10	GND	
11	IN ch5-	
12	IN ch5+	
13	IN ch6-	
14	IN ch6+	
15	IN ch7-	
16	IN ch7+	
17	IN ch8 (EXT1)-	
18	IN ch8 (EXT1)+	
19	-24V IN	
20	+24V IN	
21	0V IN	
22	EXT_MUTE_IN	0Vと接続するとMUTEになります
23		
24	0V IN	
25	-24V IN	
26	+24V IN	
27		

*スルーアウトを使用したループ接続は最大3台まで可能です。
(4台以上になる接続は禁止)

707M-N
NK27コネクタ入力
のピン配列です。

ピン配列表を間違え
ないように注意して
ください。

(株) スタジオイクイメント
〒154-0002 東京都世田谷区下馬 5-2-10
TEL 03-3795-3111
FAX 03-3795-3353
<http://www.studioequipment.co.jp>